

京大発の声明 ネット共鳴

衆議院を通過し、審議が参院に移ることになった安全保障関連法案。憲法学者から「法案は違憲」との指摘を受けながら成立へ突き進む安倍政権に対し、一風変わったメッセージで待ったをかけたようとする動きがある。インターネットやブログを通じて、賛同者がじわり広がっている。

戦争は、防衛を名目に始まる。戦争は、兵器産業に富をもたらす。戦争は、すぐに制御が効かなくなる。安保法案の採決が衆院特別委員会で行われた15日の前夜、京都大吉田キャンパス（京都市）の教室で、詩のような声明書が読み上げられた。

戦争は、始めるよりも終えるほうが難しい。戦争は、兵士だけでなく、老人や子どもにも災いをもたらす。戦争は、人々の四肢だけでなく、心の中にも深い傷を負わせる。

シンポで披露
京都大人文科学研究所で准教授を務める藤原辰史さん(38)が、ゆくりと語っていく。学者、研究者、市民合わせて賛同者が3万人を超えた「安全保障関連法案に反対する学者の会」と学生たちによる緊急シンポジウムの場。約6000人の参加者でぎゅうぎゅう詰めになり、熱気が響く教室が静寂に包まれる。

「特殊な間に生きて。戦後70年間、憲法9条のもとで戦争を放棄してきた日本。声明書は、こうした姿勢を改めて米國との関係を強化したうえで、「積極的平和主義」を推し進めようとする安倍政権に疑問を投げかける。そして、太平洋戦争で大学が戦争に協力したことへの反省も込め、決意を示す。

学問は、戦争の武器ではない。学問は、商売の道具ではない。学問は、権力の下僕ではない。

生きている場所と考える自由を守り、創るために、私たちはまず、思い上がった権力にくさびを打ちこまなくてはならない。

藤原さんが1分半ほどかけて読み終えると、教室内に拍手が10秒ほど続いた。

「歴史をふまえた名文」「ハートを撃ち抜かれました」といった書き込みとともに賛同する人も増え、フェイスブックで賛意を示す「いいね」は1万9千件に達した。

北海道や静岡などの集会で声明書を読んだという連絡も寄せられ、藤原さんは「勇気づけられます」と話している。

教師や留学生には翻訳を買って出る人も。英語、中国語、韓国語、ポランド語、イタリア語、アラビア語などの声明書ができ、ホームページに載っている。藤原さんは「学者、学生、市民が自由に発想し、議論ができる勉強会を企画していく。市民の自衛で戦争の愚かさ、平和や自由の大切さについて考え、その成果を発信していきたい」と話している。(城谷文生)

言葉の力 戦争はNO

防衛を名目に始まる すぐに制御が効かなくなる

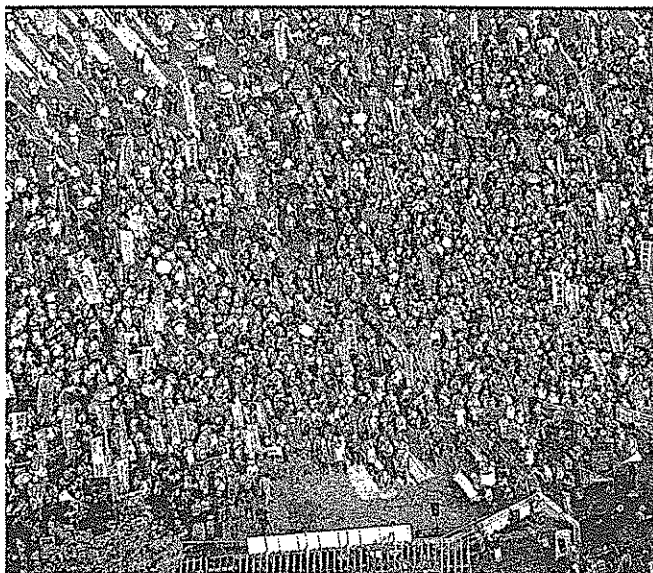


緊急シンポジウムで声明書を読み上げる藤原辰史准教授＝14日、京都市左京区

精神は、操作の対象物ではない。生命は、誰かの持ち駒ではない。海は、基地に押しつぶされてはならない。空は、戦闘機の爆音に消されてはならない。太平洋戦争が終わってから70年、沖縄の人たちは今も米軍基地と向き合う。集団的自衛権を使い、自衛隊が海外で武力を行使することを認める安保法案は様々な危険性をほらむ。血を流すことを賛成と考える普通の人よりは、知を生み出すことが重要

「一特殊な間に生きて。戦後70年間、憲法9条のもとで戦争を放棄してきた日本。声明書は、こうした姿勢を改めて米國との関係を強化したうえで、「積極的平和主義」を推し進めようとする安倍政権に疑問を投げかける。そして、太平洋戦争で大学が戦争に協力したことへの反省も込め、決意を示す。

学問は、戦争の武器ではない。学問は、商売の道具ではない。学問は、権力の下僕ではない。



何もしないと後悔 大阪「1万人集会」

大阪では18日、「アベ政治を許さない」とした紙を掲げる一斉行動とは別の大規模集会があった。扇町公園（大阪市北区）で開かれた「戦争法案は廃案に！ おおさか1万人大集会」。約1万1千人（主催者発表）が参加し、児玉憲夫・元大阪弁護士会長が「あきらめず、法案を白紙に戻そう」と語りかけた。

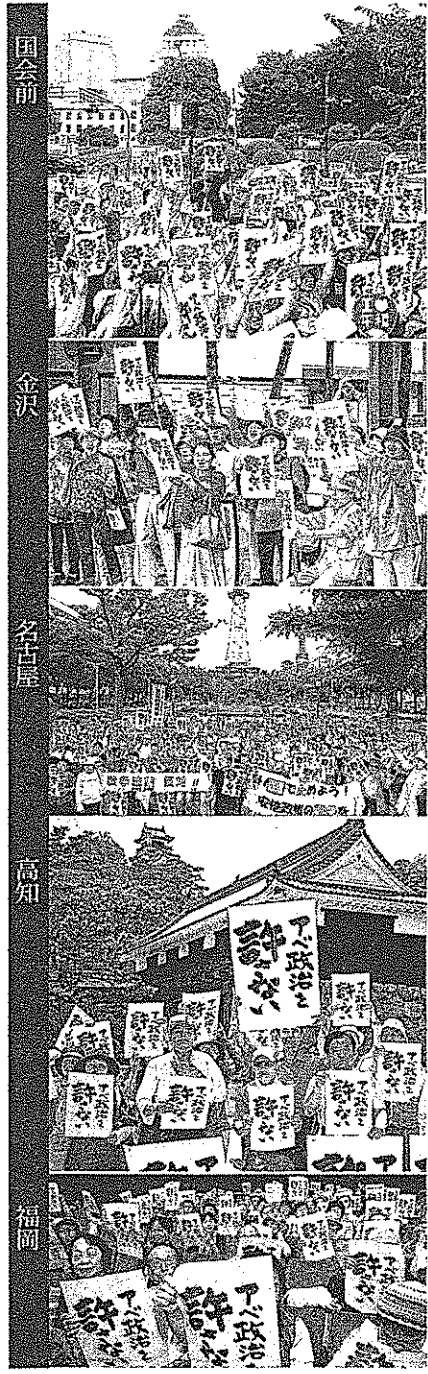
民主党の辻元清美議員、社民党の福岡瑞穂・副党首もマイクを握り、法案の廃案を要求。集会後、参加者は繁華街を練り歩いた。大学4年の中島晴香さん(23)は「雨の影響で、JR京都線が運転を見合わせていたから、自宅がある滋賀から私鉄や地下鉄を乗り継いで来ました」。デモ参加は初めてで「もし戦争をする国になったら、何もなかったことを後悔すると思っただけです」と話していた。

(本社へりから、豊田根功撮影)

呼応 街で城で

活動報告御通
18日午後各地で一斉に掲げられた「アベ政治を許さない」のメッセージ。

さない」のメッセージ。北海道、東京・国会前、名古屋・栄、京都・円山公園、金沢の繁華街、高知城、九州、沖縄……。戦争を二度とやっつけないといふ市民の金子兜太さん(86)の思いは各世代に広がり、うねりとなりつつある。事務局には、活動を報告するメールが午後5時までに500通以上寄せられた。



国会前

金沢

名古屋

高知

福岡